**MBox Viewer クラッシュノート**

MBox Viewerは広範囲にテストされていますが、稀にクラッシュが発生する場合があります。インストールルートフォルダにある標準のmboxview.exe実行ファイルは、実行例外を処理できません。mboxview.exeがクラッシュした場合は、 ReleasePlusStackTraceサブフォルダにあるmboxview.exeを実行して、問題のあるケースを再度実行する必要があります。

ReleasePlusStackTrace ディレクトリの mboxview.exe が強化され、実行例外をキャッチしてスタック トレースをダンプし、オプションで疑わしい生のメール データをテキスト ファイルにダンプできるようになりました。

標準の mbox ビューアがクラッシュした場合は、ディレクトリを ReleasePlusStackTrace ディレクトリに変更し、mbox ビューアを再実行してください。

ReleasePlusStackTrace ディレクトリ内の mbox ビューアがクラッシュした場合、問題の診断に役立つ次の 2 つのテキスト ファイルのいずれかが生成されます。

mboxview\_UnhandledException\_StackDump.txt

mboxview\_UnhandledException\_MailDump.txt

SourceForge または github でチケットを発行し、生成されたファイルを添付してください。

mboxview\_UnhandledException\_MailDump.txt ファイルには 2 つの生のユーザー メールが含まれているはずなので、これらのファイルを確認して機密情報が含まれていないことを確認してください。

https://sourceforge.net/projects/mbox-viewer/

https://github.com/eneam/mboxviewer

注：mboxview.exe の両バージョンのパフォーマンスは基本的に同じです。ただし、ReleasePlusStackTrace ディレクトリ下の mbox ビューアは、メインディレクトリ下の mbox ビューアのクラッシュを解決する場合にのみ実行してください。